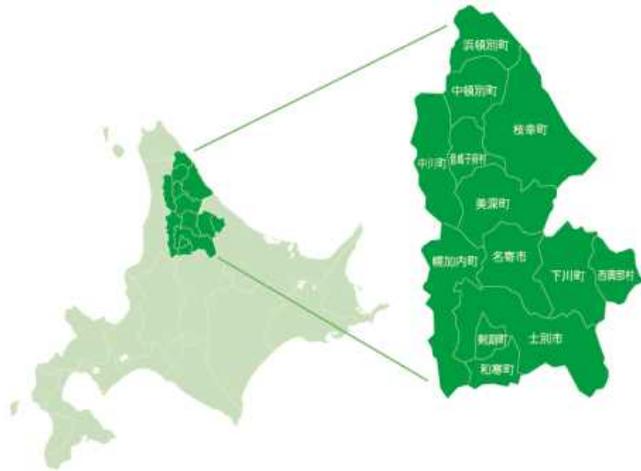


ワーキングチーム構成員からの情報提供：名寄市

名寄のふるさと納税返礼品集約化に向けた検討等について

定住自立圏の協定に基づいた物流課題解決に向けて

「北・北海道中央圏域」定住自立圏を構成する13市町村



名寄市、士別市、剣淵町、和寒町、幌加内町

下川町、西興部村、美深町、音威子府村、中川町

枝幸町、浜頓別町、中頓別町

■課題

・自治体：返礼品の調達割合30%以下、経費総額費用を50%以下

返礼品の送付にかかわる輸送コスト（日本最北端から本土への輸送）が高く、返礼品開発の制限、年内送付に間に合うように寄付金受け入れ期限を早めている

・サプライヤ様：受注増に伴う業務過多、製造・保管・輸送管理・資材発注管理が困難

①製造量増加による既存保管施設の狭隘化、作り置きができない

②作業員不足のため供給が間に合わない、主たる業務にも影響

・運送会社様：不規則な出荷により荷量確保と配車が困難

①車両台数や発送作業員数が日々変動し、業務計画が定まらず荷待ち時間の発生

②大ロッドは域内で対応できず、旭川や道央圏倉庫までチャーター輸送

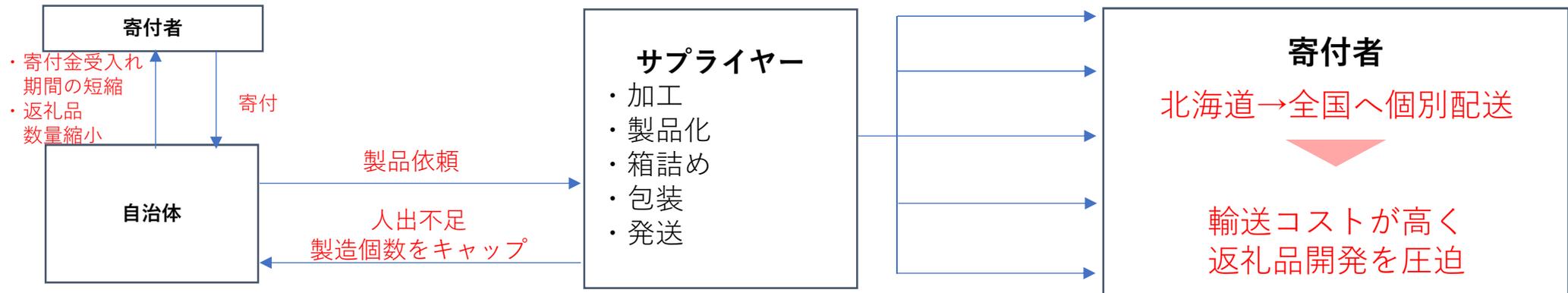
→小口とのダブルネットワーク発生⇒輸送コスト増加

ワーキングチーム構成員からの情報提供：名寄市

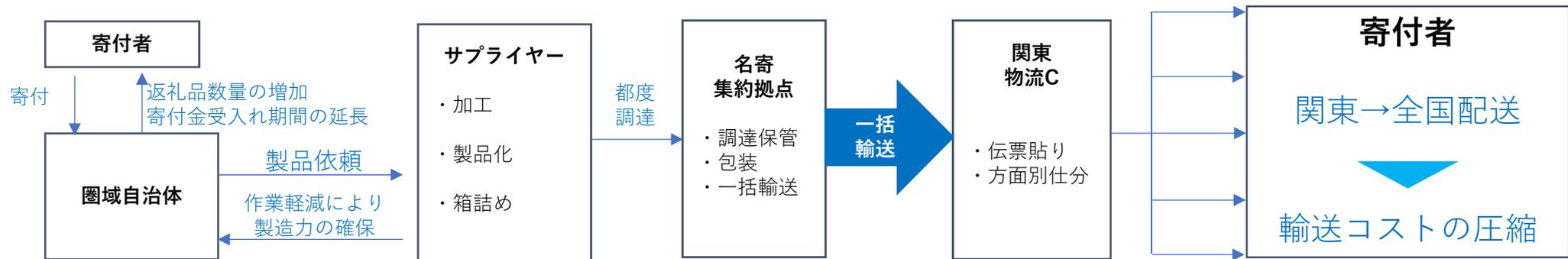
名寄のふるさと納税返礼品集約化に向けた検討等について

課題解決に向けた返礼品出荷プラットフォームモデル

Before



After



圏域連携による輸送コスト圧縮、作業効率の向上から
 寄付金受け入れ期間延長や、返礼品数量増加
 さらなる特産品開発の可能性

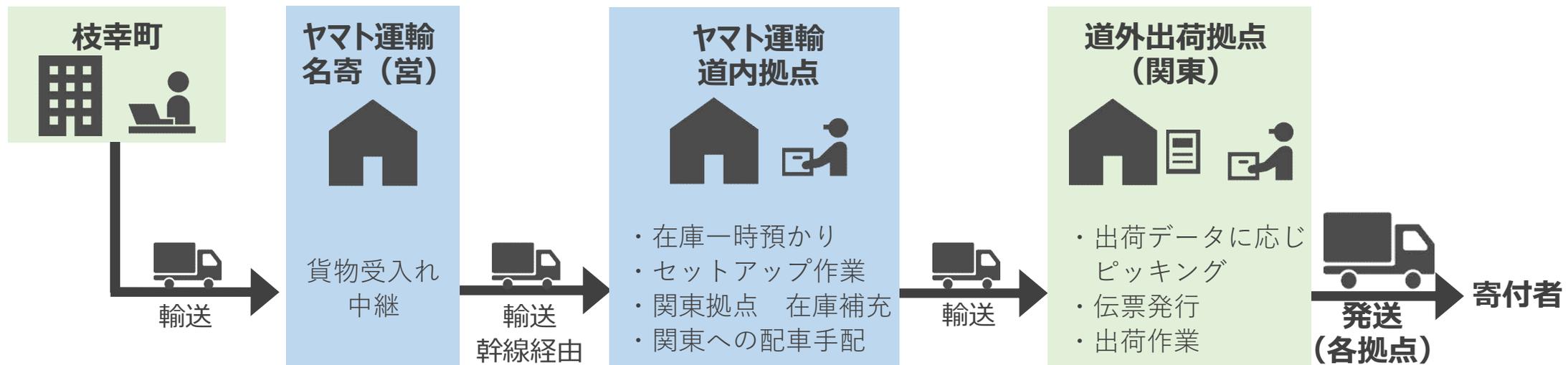
ワーキングチーム構成員からの情報提供：名寄市

名寄のふるさと納税返礼品集約化に向けた検討等について

圏域自治体（枝幸町）との連携

【課題】

返礼品出荷に係る水産加工事業者様の人員不足、年末の輸送繁忙期における製品発送の負担
 名寄市が包括連携協定を結ぶヤマト運輸とともに、物流課題解決に向け、枝幸町・名寄市・ヤマト運輸の三者による協議のもと、実証実験を開始



【想定効果】

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. コスト軽減による、返礼品商材価格の上昇 | → サプライヤー利益増、返礼品商材の多様性向上 |
| 2. 出荷OPの委託によるサプライヤーの業務軽減 | → 出荷量増 |
| 3. 受注期間延長 | → 納税額増 |

名寄集約による物流の効率化に向けてさらなる取組みの推進を行う